

2019年度L2-Tech水準表の主な変更点

| L2-Tech リストNo. | 区分 | 設備・ 機器等の 名称 | 変更の概要 | 変更の理由 | L2-Tech 水準表 情報No. | 2018年度L2-Tech水準表(素案)(変更前:取消線) | | | | | | | | | | 2018年度L2-Tech水準表(変更後:赤字) | | | | | | | | | | 備考 |
|-------------------|-------------|-------------------|---------------|---|-------------------------|-------------------------------|--------------------|--------------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|--|---|---|----|--|--|--|--|----|
| | | | | | | L2-Tech 水準 | | 指標 | | 試験条件 | | L2-Tech 水準 | | 指標 | | 試験条件 | | | | | | | | | | |
| | | | | | | 測定単位 単位 | 名称 | 準拠する規格 | 計算式 | 規格の名称 | 準拠する規格 | 規格の名称 | 説明 | 測定単位 単位 | 名称 | 準拠する規格 | 計算式 | 規格の名称 | 準拠する規格 | 規格の名称 | 説明 | | | | | |
| L-000940 | 産業・業務(業種共通) | フロン類等冷媒ターボ冷凍機 | L2-Tech水準の見直し | 当該クラスのL2-Tech水準に該当する製品が市場に存在しない製品であったため | S-005784 | 9.4 | - | 期間成績係数(IPLV) | JISB8621:2011 | 遠心冷凍機 | JISB8621:2011に準拠 | JISB8621:2011 | 遠心冷凍機 | JISB8621:2011に準拠 | JISB8621:2011 | 遠心冷凍機 | JISB8621:2011に準拠 | | | | | | | | | |
| L-000940 | 産業・業務(業種共通) | フロン類等冷媒ターボ冷凍機 | L2-Tech水準の見直し | 当該クラスのL2-Tech水準に該当する製品が市場に存在しない製品であったため | S-005785 | 9.2 | - | 期間成績係数(IPLV) | JISB8621:2011 | 遠心冷凍機 | JISB8621:2011に準拠 | JISB8621:2011 | 遠心冷凍機 | JISB8621:2011に準拠 | JISB8621:2011 | 遠心冷凍機 | JISB8621:2011に準拠 | | | | | | | | | |
| L-000940 | 産業・業務(業種共通) | フロン類等冷媒ターボ冷凍機 | L2-Tech水準の見直し | 当該クラスのL2-Tech水準に該当する製品が市場に存在しない製品であったため | S-005787 | 9.6 | - | 期間成績係数(IPLV) | JISB8621:2011 | 遠心冷凍機 | JISB8621:2011に準拠 | JISB8621:2011 | 遠心冷凍機 | JISB8621:2011に準拠 | JISB8621:2011 | 遠心冷凍機 | JISB8621:2011に準拠 | | | | | | | | | |
| L-000973 | 産業・業務(業種共通) | 温水機 | L2-Tech水準の見直し | 整数で表示する必要があるため | S-005709 | 405.2 | % | ボイラ効率 | JISB8222-1993、JISB8417:2000またはJISB8418:2000(あるいは、HA-035:2017またはHA-036:2017) | 陸用ボイラ-熱動定方式、真空式温水発生機、または無圧式温水発生機(あるいは、HA-035:2017に準拠) | JISB8222-1993、JISB8417:2000、またはJISB8418:2000(あるいは、HA-035:2017に準拠) | JISB8222-1993、JISB8417:2000またはJISB8418:2000(あるいは、HA-035:2017またはHA-036:2017) | 陸用ボイラ-熱動定方式、真空式温水発生機、または無圧式温水発生機(あるいは、HA-035:2017に準拠) | JISB8222-1993、JISB8417:2000、またはJISB8418:2000(あるいは、HA-035:2017に準拠) | JISB8222-1993、JISB8417:2000またはJISB8418:2000(あるいは、HA-035:2017に準拠) | JISB8222-1993、JISB8417:2000またはJISB8418:2000(あるいは、HA-035:2017に準拠) | JISB8222-1993、JISB8417:2000またはJISB8418:2000(あるいは、HA-035:2017に準拠) | JISB8222-1993、JISB8417:2000またはJISB8418:2000(あるいは、HA-035:2017に準拠) | | | | | | | | |
| L-000988 | 産業・業務(業種共通) | LED照明器具 | L2-Tech水準の見直し | 当該クラスに該当する製品が新たに確認でき、水準の変更が必要と判断したため | S-005498 | - | lm/W | 固有エネルギー消費効率 | JISC8105-3:2011、JISC8105-5:2011及びJISZ8113:1998 | 照明器具-第3部:性能要求事項、照明器具-第5部:配光測定方法及び照明用語 | JISC8105-3:2011、JISC8105-5:2011及びJISZ8113:1998に準拠 | JISC8105-3:2011、JISC8105-5:2011及びJISZ8113:1998 | 照明器具-第3部:性能要求事項、照明器具-第5部:配光測定方法及び照明用語 | JISC8105-3:2011、JISC8105-5:2011及びJISZ8113:1998に準拠 | JISC8105-3:2011、JISC8105-5:2011及びJISZ8113:1998 | 照明器具-第3部:性能要求事項、照明器具-第5部:配光測定方法及び照明用語 | JISC8105-3:2011、JISC8105-5:2011及びJISZ8113:1998に準拠 | JISC8105-3:2011、JISC8105-5:2011及びJISZ8113:1998に準拠 | | | | | | | | |
| L-000960 | 産業・業務(業種共通) | 高温水ヒートポンプ(水熱源一過式) | L2-Tech水準の見直し | 当該クラスのL2-Tech水準に該当する製品が市場に存在しない製品であったため | S-005782 | 4.5 | - | 成績係数(COP) | - | - | - | - | 成績係数(COP)の算出にあたっては、温水出口温度、熱源水入口温度、熱源水出口温度、温水出入口温度差を以下のとおり設定することと条件とする。温水出口温度:70℃、熱源水入口温度:35℃、熱源水出口温度:25℃、温水出入口温度差:50℃ | 成績係数(COP)の算出にあたっては、温水出口温度、熱源水入口温度、熱源水出口温度、温水出入口温度差を以下のとおり設定することと条件とする。温水出口温度:70℃、熱源水入口温度:35℃、熱源水出口温度:25℃、温水出入口温度差:50℃ | 成績係数(COP)の算出にあたっては、温水出口温度、熱源水入口温度、熱源水出口温度、温水出入口温度差を以下のとおり設定することと条件とする。温水出口温度:70℃、熱源水入口温度:35℃、熱源水出口温度:25℃、温水出入口温度差:50℃ | 成績係数(COP)の算出にあたっては、温水出口温度、熱源水入口温度、熱源水出口温度、温水出入口温度差を以下のとおり設定することと条件とする。温水出口温度:70℃、熱源水入口温度:35℃、熱源水出口温度:25℃、温水出入口温度差:50℃ | 成績係数(COP)の算出にあたっては、温水出口温度、熱源水入口温度、熱源水出口温度、温水出入口温度差を以下のとおり設定することと条件とする。温水出口温度:70℃、熱源水入口温度:35℃、熱源水出口温度:25℃、温水出入口温度差:50℃ | | | | | | | | | |
| L-000960 | 産業・業務(業種共通) | 高温水ヒートポンプ(水熱源一過式) | L2-Tech水準の見直し | 当該クラスのL2-Tech水準に該当する製品が市場に存在しない製品であったため | S-005783 | 4.74 | - | 成績係数(COP) | - | - | - | - | 成績係数(COP)の算出にあたっては、温水出口温度、熱源水入口温度、熱源水出口温度、温水出入口温度差を以下のとおり設定することと条件とする。温水出口温度:60℃、熱源水入口温度:25℃、熱源水出口温度:15℃、温水出入口温度差:40℃ | 成績係数(COP)の算出にあたっては、温水出口温度、熱源水入口温度、熱源水出口温度、温水出入口温度差を以下のとおり設定することと条件とする。温水出口温度:60℃、熱源水入口温度:25℃、熱源水出口温度:15℃、温水出入口温度差:40℃ | 成績係数(COP)の算出にあたっては、温水出口温度、熱源水入口温度、熱源水出口温度、温水出入口温度差を以下のとおり設定することと条件とする。温水出口温度:60℃、熱源水入口温度:25℃、熱源水出口温度:15℃、温水出入口温度差:40℃ | 成績係数(COP)の算出にあたっては、温水出口温度、熱源水入口温度、熱源水出口温度、温水出入口温度差を以下のとおり設定することと条件とする。温水出口温度:60℃、熱源水入口温度:25℃、熱源水出口温度:15℃、温水出入口温度差:40℃ | 成績係数(COP)の算出にあたっては、温水出口温度、熱源水入口温度、熱源水出口温度、温水出入口温度差を以下のとおり設定することと条件とする。温水出口温度:60℃、熱源水入口温度:25℃、熱源水出口温度:15℃、温水出入口温度差:40℃ | | | | | | | | | |
| L-001120 | 家庭 | Low-E複層ガラス・樹脂サッシ | L2-Tech水準の見直し | 当該クラスに該当する製品が新たに確認でき、水準の変更が必要と判断したため | S-004949 | 4.3 | W/m ² K | 熱貫流率 | JISA4710:2015、JISA2102-1:2015及びJISA2102-2:2011 | 建具の断熱性能試験方法、窓及びドアの熱性能-熱貫流率の計算-第1部:一般及び窓及びドアの熱性能-熱貫流率の計算-第2部:フレームの数値計算方法 | JISA4710:2015、JISA2102-1:2015及びJISA2102-2:2011に準拠 | JISA4710:2015、JISA2102-1:2015及びJISA2102-2:2011 | 建具の断熱性能試験方法、窓及びドアの熱性能-熱貫流率の計算-第1部:一般及び窓及びドアの熱性能-熱貫流率の計算-第2部:フレームの数値計算方法 | JISA4710:2015、JISA2102-1:2015及びJISA2102-2:2011に準拠 | JISA4710:2015、JISA2102-1:2015及びJISA2102-2:2011に準拠 | 建具の断熱性能試験方法、窓及びドアの熱性能-熱貫流率の計算-第1部:一般及び窓及びドアの熱性能-熱貫流率の計算-第2部:フレームの数値計算方法 | JISA4710:2015、JISA2102-1:2015及びJISA2102-2:2011に準拠 | JISA4710:2015、JISA2102-1:2015及びJISA2102-2:2011に準拠 | 建具の断熱性能試験方法、窓及びドアの熱性能-熱貫流率の計算-第1部:一般及び窓及びドアの熱性能-熱貫流率の計算-第2部:フレームの数値計算方法 | JISA4710:2015、JISA2102-1:2015及びJISA2102-2:2011に準拠 | | | | | | |

